

**製品名: EphA5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10520**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPHA5
別名	EPHA5; BSK; EHK1; HEK7; TYRO4; Ephrin type-A receptor 5; Brain-specific kinase; EPH homology kinase 1; EHK-1; EPH-like kinase 7; EK7; hEK7
遺伝子 ID	2044.0
SwissProt ID	P54756
免疫原	抗血清はヒト EPHA5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

**背景**

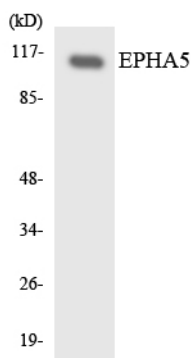
この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属する。EPH および EPH 関連受容体は、

特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されている。EPHサブファミリーの受容体は、典型的には、単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプIIIリピートを含む細胞外領域を有する。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリンAおよびエフリンBリガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類される。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq提供、2013年8月]、代替産物：追加のアイソフォームが存在すると思われる。触媒活性：ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。機能：エフリンAファミリーメンバーの受容体。エフリンA1、A2、A3、A4、A5に結合します。類似性：タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。類似性：タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。チロシンキナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。類似性：1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性：1つのSAM（無菌αモチーフ）ドメインを含みます。類似性：2つのフィブロネクチンIII型ドメインを含みます。組織特異性：ほぼ神経系でのみ発現します。、

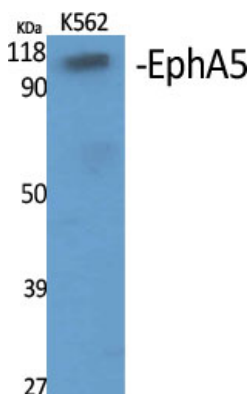
## 研究分野

軸索ガイダンス;

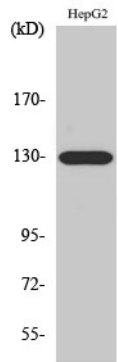
## 画像データ



EPHA5抗体を使用したHeLa細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



EphA5ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



EphA5 ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析